

様式 01-2

一般社団法人日本塗料工業会  
会長 毛利 訓士 殿

サインは直筆で担当者が記入

2026年 6月 23日

申請書類内容確認書

登録塗料分類； **EM：合成樹脂エマルションペイント**  
商品名； **ニホン壁タロウ（各色・各つや）**

会社名； **日本塗料株式会社**  
担当部門； **技術部**  
責任者サイン； **塗料 小太郎**

資料の種類		新規申請			維持管理				更新申請		
		天然系塗料N	天然以外	申請者確認欄	天然系塗料N	アルキド塗料AR	N、AR以外	申請者確認欄	天然系塗料N	天然以外	申請者確認欄
様式 01-1	ホルムアルデヒド自主管理商品登録申請書(商品属性欄に該当番号を記入)	☆		OK	—	—	—	/	—	—	/
様式 01-2	申請書類内容確認書(本様式)	◎		OK	◎	★	—		◎	★	
様式 02-1	ホルムアルデヒド自主管理適合・品質保証書	◎		OK	—	—	—	/	◎	★	
様式 02-2	品質保証書—組成表(注記に従い、記入漏れに注意)	◎		OK	—	—	—	/	—	—	/
様式 03-1	ホルムアルデヒド放散量測定検査証明書(デシケータ法用)	—			—	—	—	/	—	—	/
様式 03-2	ホルムアルデヒド放散量測定検査証明書(チャンバー法用)	—	◎	OK	◎	★	—		—	★	
外部試験証明書(指定性能評価機関によるもの)		◎			◎				◎		
測定上の 注意事項	1. 塗装仕様書、商品ラベル等の上限値を下回らない量	◇		OK	◇	◇	—		◇	◇	
	2. F☆☆☆☆申請する場合は、結晶皿の水は100mlとする	◇		OK	◇	◇	—		◇	◇	
	3. 申請日の半年以内に測定し、色相・ツヤを指定	◇		OK	◇	◇	—		◇	◇	
	4. 養生条件は標準条件(温度 23±2℃、湿度 50±5%)で7日間	◇		OK	◇	◇	—		◇	◇	
	5. 測定を実施する場所で試験片作製(試験片作製後の移送不可)	◇		OK	◇	◇	—		◇	◇	
	6. 測定はチャンバー法(試料負荷率 2.2)又はデシケータ法	◇		OK	◇	◇	—		◇	◇	
	7. 同一塗料分類で放散データが一番高いものを代表商品とする	—		/	—	◇	—		—	◇	
	8. 申請商品の全ての塗装方法で、基準値に適合することを申請前に確認する	◇		OK	◇	◇	◇		◇	◇	
商品の標準仕様、塗分量、居室内 使用用途が記載されたもの	・業務用塗料は、カタログ、説明書、塗装仕様等 ・家庭用塗料は、商品ラベル(塗料密度の資料)		◎	OK	◎	★	—		◎	★	
商品の SDS(家庭用塗料は除く)		◎		OK	—	—	—	/	—	—	/
様式 06	商品登録廃止届出書			/	○	○	○	/	○	○	/
様式 07	ホルムアルデヒド自主管理商品登録更新申請書(事務局から送信)	—		/	—	—	—	/	△		
様式 08	ホルムアルデヒド自主管理分類別代表商品決定報告書(事務局から送信)	—		/	—	△	○	/	△		
様式 10	登録商品情報変更申請書	—		/	○	○	○	/	○	○	/
様式 12	天然系塗料・アルキド樹脂系塗料維持管理報告書	—		/	△	★	—	/	—	—	/
様式 13	ホルムアルデヒド自主管理適合宣誓書(木材用塗料)	○		OK	—	—	—	/	—	—	/
様式 14	ホルムアルデヒド自主管理商品 更新代表商品一覧表	—		/	—	—	—	/	—	▲	/
様式 15	エアゾール製品の塗分量算出根拠	○		OK	○	○	○	/	○	○	/
様式 16	ホルムアルデヒド放散量測定検査時の合計塗分量の算出根拠	◎		OK	◎	◎	◎		◎	◎	
様式任意	配合比率変更がホルムアルデヒド放散に与える影響に関する見解書	○		OK	○	○	○	/	○	○	/
PDF資料	ウィルスチェックは <b>〇〇パスター-EX</b> を用いて実施する	☆		OK	◎	★	—		◎	★	

☆:分類毎 ◎:商品毎 ★:分類毎代表品 △:全品一覧表 ▲:代表品一覧表 ○:必要に応じて ◇:注意事項